

令和3年4月30日

緑小だより

横浜市立緑小学校

5月号

ふれあい 学びあい みとめあう みどりっ子

mail y3midori@edu.city.yokohama.jp

URL <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/midori>

自慢の学校!!

学校長 能城 順一

はや4月が過ぎ去ります。令和3年度のスタートとなった4月は、春らしい気持ちの良い天候に恵まれ、子どもたちは新しい学年・学級の中で、今月号の「ありがとうのページ」の6年生のような新たな気持ちを感じられる、引き締まった表情で学校生活を送っていました。私も、毎日全学級の教室を巡回しますが、どの教室からも、新しい担任・新しい仲間との良い関係を築いていこうとする「あたたかい空気」が感じられて、嬉しく感じるが多かったスタートの4月でした。

さて、そんな私の毎日の日課である教室巡回で2年生の教室を訪れた時のことです。2年生の子どもたちが道徳の授業の中で「私たちの緑小学校の自慢したいところは、どんなところでしょうか?」という内容について考え、発言している場面を目にしました。2年生の子どもたちが考えた「緑小学校の自慢したいところ」を紹介させてください。

- ・みんなたのしくて、えがおになるばしょ。ハピネスくんがいるばしょ。
- ・先生がていねいにべんきょうをおしえてくれるよ。学校には、やさしい子がいっぱいだよ。
- ・えがおいっぱいの小学校。ありがとういっぱいの小学校。きょうしよくがおいしい小学校。
- ・ありがとういっぱいがみどり小学校のいいところだと思います。
- ・先生がやさしい。ありがとうの学校にしたいという校長先生がいるよ。

4月7日の始業式で、全校の子どもたちに「ありがとうにあふれた緑小学校にしていきたいと思います」と話した私にとっては、心から嬉しくなるような子どもたちの考える「緑小学校の自慢」です。校長が掲げる学校運営方針は、まず教職員全員が同じ方向を向いて教育活動を進めていかなければなりません。そして、子どもたちにもその方針を分かりやすい形で示していかなければなりません。さらに言えば、保護者の皆様におかれましても、ご家庭の中で「ありがとうを大切にする」等のご支援をいただけますと、より豊かな心の育成に繋がっていきます。

教職員一同、子どもたちが考える「自慢の緑小学校」の実現に向けて力を合わせて、教育活動を進めてまいります。保護者の皆様・地域の皆様、これまで以上のご理解・ご支援を賜りますようお願いいたします。

【運動会について】

新型コロナウイルス感染症の状況は、依然予断を許さない状況です。5月22日(土)に予定されている運動会については、現時点では次のような方針で準備を進めています。

○まん延防止等重点措置が、5月11日をもって終了し、12日より解除となった場合。

- ・「2・3・5年生のAブロック」と「1・4・6年生のBブロック」に分けた**2部制での運動会**の実施。昨年度の運動会と同様に、リレーや応援団等の活動も可能な範囲で実施。保護者の参観は、1ブロック児童1名につき、保護者1名。

○まん延防止等重点措置が5月11日で終了せずに、12日以降も延長となった場合や緊急事態宣言となった場合。

- ・**運動会ではなく「体育発表会」という形態**に替え、規模を大幅に縮小して実施。「3・5年の第1部」「2・4年の第2部」「1・6年の第3部」の**3部制**とし、団体演技と徒競走のみを実施。得点もつけず、リレーや応援団の活動等も中止する。保護者参観は、運動会の時と同様に1名。

○学校が休業となったり、教育委員会から通知があったりした場合。

- ・昨年度のように学校が休業となったり、教育委員会から「延期」の通知があったりした場合は、運動会を**秋に延期**する。

いずれにしても、大型連休明けの状況を踏まえ、**5月6日のPTA役員会・運営委員会で協議した後**に、正式な方向性を伝えます。ご理解の程よろしくお願いいたします。